



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
 コード番号 9997 URL http://www.belluna.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	154,145	12.0	11,607	59.6	12,487	69.0	8,620	87.6
2020年3月期第3四半期	137,578	3.0	7,274	△14.0	7,389	△34.7	4,594	△36.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 8,956百万円(116.3%) 2020年3月期第3四半期 4,140百万円(△19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	89.18	—
2020年3月期第3四半期	47.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	241,219	109,945	45.3
2020年3月期	223,128	102,525	45.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 109,342百万円 2020年3月期 101,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.50	16.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	11.1	14,000	35.8	14,800	42.8	10,500	79.1	108.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	97,244,472株	2020年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	571,610株	2020年3月期	587,369株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	96,664,827株	2020年3月期3Q	96,721,721株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、インバウンド需要の減少や国内外における経済活動の停滞などにより、極めて厳しい状況にあり、未だ先行きは不透明な状況にあります。国内の個人消費におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う失業率の上昇や所得環境の悪化により、消費需要が回復するには一定の時間を要すると考えられます。通信販売業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や接触回避など生活様式が変化した影響により、幅広い顧客層からの需要が高まり、利用拡大が進みました。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は154,145百万円（前年同期比12.0%増）となり、営業利益は11,607百万円（同59.6%増）となりました。経常利益は、資金調達に係る手数料が前年同時期より縮小したことなどにより12,487百万円（同69.0%増）となりました。また、有形固定資産売却益などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,620百万円（同87.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

〔総合通販事業〕

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、雑貨類やホームウェアを中心に通販需要が高まったことに加え、積極的な広告宣伝を行った結果、売上高は69,554百万円（同19.7%増）となり、セグメント利益は4,890百万円（同169.2%増）となりました。

〔専門通販事業〕

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、看護師向け通販事業及びグルメ・ワイン事業を中心に好調に推移し、売上高は47,985百万円（同28.4%増）となり、セグメント利益は5,353百万円（同91.8%増）となりました。

〔店舗販売事業〕

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたディベロッパーの方針による営業時間短縮や臨時休業の影響により、売上高は17,120百万円（同25.4%減）となり、セグメント損失は1,791百万円（前年同期は5百万円のセグメント損失）となりました。

〔ソリューション事業〕

通販代行サービス及び封入・同送サービスが共に好調に推移したことに加え、JOBSTUDIO PTE. LTD. を新たに連結グループに加えたことなどにより、売上高は7,707百万円（同30.5%増）となり、セグメント利益は2,122百万円（同11.5%増）となりました。

〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高が前年同時期に比べ増加していることにより、売上高は3,486百万円（同7.2%増）となり、セグメント利益は1,857百万円（同35.2%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

ホテル事業において、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた行政機関による日本国内における移動制限の影響や外国人の入国規制の影響により、売上高は5,410百万円（同19.6%減）となり、セグメント利益は197百万円（同54.5%減）となりました。

〔その他の事業〕

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ゴルフ場運営事業、飲食店事業、宿泊予約事業などが苦戦し、売上高は3,607百万円（同9.8%減）となり、セグメント損失は703百万円（前年同期は746百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比14,814百万円増加し、118,497百万円となりました。これは主に現金及び預金が4,447百万円、受取手形及び売掛金が4,238百万円、商品及び製品が3,268百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比3,276百万円増加し、122,721百万円となりました。これは主に建物及び構築物が1,256百万円減少した一方で、建設仮勘定が5,538百万円、投資有価証券が1,625百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比18,090百万円増加し、241,219百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比14,167百万円増加し、64,303百万円となりました。これは主に短期借入金が4,367百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が9,329百万円、未払法人税等が2,161百万円、未払費用が3,665百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比3,497百万円減少し、66,970百万円となりました。これは主に長期借入金が3,532百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比10,670百万円増加し、131,273百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比7,419百万円増加し、109,945百万円となりました。この結果、自己資本比率は45.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、2020年10月29日に公表いたしました通期の業績予想について見直しを行っております。詳細につきましては、2021年1月28日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,788	27,236
受取手形及び売掛金	9,391	13,629
営業貸付金	27,314	26,889
有価証券	486	210
商品及び製品	20,910	24,178
原材料及び貯蔵品	1,403	1,350
販売用不動産	3,385	3,389
仕掛販売用不動産	8,591	9,315
その他	10,009	12,884
貸倒引当金	△598	△586
流動資産合計	103,683	118,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,183	27,927
機械装置及び運搬具（純額）	7,979	7,602
工具、器具及び備品（純額）	1,770	1,570
土地	43,849	42,954
リース資産（純額）	145	117
建設仮勘定	5,722	11,260
有形固定資産合計	88,651	91,431
無形固定資産		
のれん	2,689	2,155
リース資産	576	631
その他	8,561	8,276
無形固定資産合計	11,827	11,063
投資その他の資産		
投資有価証券	11,094	12,720
長期貸付金	1,763	1,689
破産更生債権等	187	198
繰延税金資産	1,897	1,469
その他	4,677	4,739
貸倒引当金	△653	△591
投資その他の資産合計	18,966	20,225
固定資産合計	119,445	122,721
資産合計	223,128	241,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,225	27,555
短期借入金	12,046	7,679
未払費用	10,442	14,108
リース債務	322	246
未払法人税等	1,148	3,310
賞与引当金	742	466
返品調整引当金	71	101
ポイント引当金	480	489
その他	6,655	10,346
流動負債合計	50,135	64,303
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	55,774	52,241
利息返還損失引当金	732	771
リース債務	407	507
退職給付に係る負債	249	241
役員退職慰労引当金	252	249
資産除去債務	1,212	1,170
修繕引当金	5	27
その他	1,833	1,761
固定負債合計	70,467	66,970
負債合計	120,602	131,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,954
利益剰余金	85,177	92,251
自己株式	△491	△480
株主資本合計	106,253	113,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	1,342
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△4,419	△5,268
退職給付に係る調整累計額	△83	△61
その他の包括利益累計額合計	△4,363	△3,995
非支配株主持分	636	603
純資産合計	102,525	109,945
負債純資産合計	223,128	241,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	137,578	154,145
売上原価	58,059	63,861
売上総利益	79,518	90,284
返品調整引当金繰延差額	4	29
差引売上総利益	79,514	90,254
販売費及び一般管理費	72,240	78,646
営業利益	7,274	11,607
営業外収益		
受取利息	88	48
受取配当金	234	461
デリバティブ評価益	-	2
助成金収入	7	358
その他	538	465
営業外収益合計	868	1,335
営業外費用		
支払利息	137	155
為替差損	20	152
デリバティブ評価損	46	-
減価償却費	14	15
支払手数料	447	20
その他	86	112
営業外費用合計	754	456
経常利益	7,389	12,487
特別利益		
投資有価証券売却益	165	15
受取和解金	88	-
固定資産売却益	-	1,218
特別利益合計	254	1,234
特別損失		
固定資産除却損	63	1
有形固定資産売却損	-	17
減損損失	3	53
有価証券評価損	-	59
投資有価証券償還損	15	-
抱合せ株式消滅差損	-	46
和解金	-	58
特別損失合計	83	236
税金等調整前四半期純利益	7,560	13,484
法人税、住民税及び事業税	2,880	4,926
法人税等調整額	116	△47
法人税等合計	2,996	4,878
四半期純利益	4,563	8,606
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,594	8,620

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	4,563	8,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	365	1,194
為替換算調整勘定	△806	△867
退職給付に係る調整額	18	22
その他の包括利益合計	△422	350
四半期包括利益	4,140	8,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,200	8,988
非支配株主に係る四半期包括利益	△59	△32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	57,780	37,267	22,947	5,782	3,252	6,648	3,900	—	137,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	347	101	—	124	—	76	97	△747	—
計	58,127	37,368	22,947	5,907	3,252	6,725	3,997	△747	137,578
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,816	2,791	△5	1,904	1,373	434	△746	△294	7,274

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳155百万円とのれん償却費△449百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	69,210	47,896	17,117	7,585	3,486	5,328	3,519	—	154,145
セグメント間の内部 売上高又は振替高	343	88	2	122	—	81	88	△726	—
計	69,554	47,985	17,120	7,707	3,486	5,410	3,607	△726	154,145
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	4,890	5,353	△1,791	2,122	1,857	197	△703	△319	11,607

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳194百万円とのれん償却費△514百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。